

2025年12月15日

株式会社アーバネットコーポレーション

「アーバネット防災プログラム」が

国立環境研究所のサイト内で

気候リスク管理の事例として紹介されました

このたび、当社が推進する「アーバネット防災プログラム」が、国立環境研究所の気候変動適応情報プラットフォーム「A-PLAT」において、気候リスク管理の事例として紹介されましたのでお知らせいたします。

「アーバネット防災プログラム(台風対策)」は、当社が開発する都市型賃貸マンションにおいて、強風対策・豪雨対策・停電対策の3点を強化することを目的に、2020年1月に策定したものです。

近年、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、大雨・短時間豪雨の発生頻度や降水量の増加が予測され、大規模な水災害のリスクが高まっています。こうした状況を踏まえ、当社では昨年12月、豪雨対策を一層強化する内容へとプログラムを改定いたしました。

これらの取り組みが、気候変動への適応を推進する事例として評価され、このたび A-PLAT にて紹介されました。

<掲載ページ>

A-PLAT 気候リスク管理の事例(個別):アーバネット防災プログラムによる災害対策

https://adaptation-platform.nies.go.jp/private_sector/riskmgmt/risk-029.html

当社グループは今後もサステナビリティへの取り組みを強化し、入居者の安全・安心を最重要事項として、気象状況の変化に関する情報収集と、最新の防災対策の推進に努めてまいります。



■気候変動適応情報プラットフォーム(A-PLAT)

環境省と国立研究開発法人国立環境研究所が運営する、気候変動の影響と適応策に関する総合情報サイト。気候変動による豪雨・台風の強大化、猛暑、自然災害の増加などに対し、国・自治体・企業・研究機関・市民がどのように備え、適応していくかを支援することを目的としています。

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/>

【お問合せ】株式会社アーバネットコーポレーション 経営管理部

TEL:03-6550-9160(代) FAX:03-6550-9162

URL:<https://www.urbanet.jp/>

【ご参考】

アーバネット防災プログラム（台風対策）



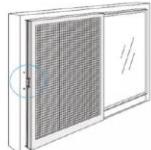
温暖化による異常気象の影響として、台風や集中豪雨の被害が懸念されることから、
都市型賃貸マンションの台風対策「アーバネット防災プログラム(台風対策)」を策定

設計面

共用部1階に防災倉庫の設置／電気室は必ず地上階に設置（1階に設置の場合は防水ドアの設置）

1. 強風対策

- (1) ガラス及び網戸の飛散脱落対策
- (2) サッシの耐風圧性能の強化
- (3) 避難隔壁板及び隔柱の強化



たて枠ロック

2. 豪雨対策

- (1) 共用部の雨水浸入対策の強化
- (2) 浸水時等に雨水を一時的に
地下ピットに貯留するシステム
- (3) 下水道本管満流時の住戸内配管から
の逆流対策



止水板

3. 停電対策

- (1) 停電時に自動点灯する保安灯
- (2) ラジオ、照明、スマート等の
充電が可能な防災ラジオ
※電池、ソーラーパネル、手回しで使用可能



防災ラジオ



保安灯

以上

【お問合せ】株式会社アーバネットコーポレーション 経営管理部

TEL:03-6550-9160(代) FAX:03-6550-9162

URL:<https://www.urbanet.jp/>